

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 1 区分  
 【発行日】平成 17 年 7 月 14 日 (2005.7.14)

【公開番号】特開 2003-148369 (P2003-148369A)  
 【公開日】平成 15 年 5 月 21 日 (2003.5.21)  
 【出願番号】特願 2001-349331 (P2001-349331)  
 【国際特許分類第 7 版】

F 0 4 C 29/00

F 0 4 B 39/00

F 0 4 C 23/02

H 0 2 K 1/27

H 0 2 K 21/16

【F I】

F 0 4 C 29/00 T

F 0 4 B 39/00 1 0 6 C

F 0 4 C 23/02 B

H 0 2 K 1/27 5 0 1 K

H 0 2 K 21/16 M

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 11 月 11 日 (2004.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

モータ回転軸に固設された略円柱状の回転子と、該回転子に固設された永久磁石と、前記回転子及び前記永久磁石の外周に所定隙間を持って配置された固定子とを備える真空ポンプ用モータを用いる真空ポンプにおいて、前記永久磁石は前記回転子の外周面から径方向に所定距離内側に固設されることを特徴とする真空ポンプ。

【請求項 2】

前記回転子には外周面から径方向に前記所定距離内側において回転軸方向に延びる嵌合孔が設けられ、前記永久磁石は前記嵌合孔に嵌合されることを特徴とする、請求項 1 に記載の真空ポンプ。

【請求項 3】

前記真空ポンプ用モータは半導体製造装置に使用されることを特徴とする、請求項 1 又は 2 に記載の真空ポンプ。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】真空ポンプ

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 上記した技術的課題を解決するために講じた第1の技術的手段は請求項1に示すように、モータ回転軸に固設された略円柱状の回転子と、該回転子に固設された永久磁石と、前記回転子及び前記永久磁石の外周に所定隙間を持って配置された固定子とを備える真空ポンプ用モータを用いる真空ポンプにおいて、前記永久磁石は前記回転子の外周面から径方向に所定距離内側に固設されることを特徴とする真空ポンプを構成したものである。

## 【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0008】

より好ましくは請求項2に示すように、前記回転子には外周面から径方向に前記所定距離内側において回転軸方向に延びる嵌合孔が設けられ、前記永久磁石は前記嵌合孔に嵌合されることを特徴とする、請求項1に記載の真空ポンプを構成したものである。

## 【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

## 【補正の内容】

## 【0010】

さらに、請求項3に示すように、前記真空ポンプ用モータは半導体製造装置に使用されることを特徴とする、請求項1又は2に記載の真空ポンプを構成したものである。